

北海道高文連 70 周年記念大会
北海道高等学校文化連盟 第 30 回全道高等学校将棋新人大会
兼 第 35 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会北海道大会

開 催 要 項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
- 2 後 援 北海道教育委員会 日本将棋連盟北海道支部連合会
- 3 主 管 北海道高等学校文化連盟将棋専門部
- 4 当 番 校 北海道札幌東高等学校
〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 3 丁目 TEL 011-811-1919
- 5 期 日 令和 8 年(2026 年)11 月 6 日(金)
- 6 会 場 札幌市産業振興センター
〒003-0005 札幌市白石区東札幌 5 条 1 丁目 TEL 011-820-3033
- 7 参加資格
 - (1) 北海道高等学校文化連盟に加盟している学校の生徒であること。
 - (2) 所属学校教員の責任引率が出来ること。
 - (3) 個人肖像権使用承諾書を提出できること。
 - (4) 高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校の高等部の生徒であること。高等専門学校は第 2 年次までの生徒であること。なお、原級留置、過年度入学、転学、再入学等については考慮しない。
 - (5) 全日制は 1 年から 2 年までの生徒。定時制は 1 年から 3 年までの生徒であること。また、学年制をとらない学校の生徒については、出場する新人大会の行われる年度が「卒業見込み年度でない」生徒であること。「卒業見込み年度でない」とは、当該年度に当該校で 1 年間に修得できる最大単位数を修得しても、卒業に必要な単位数に達しないことをいう。
 - (6) 男子は各支部で予選を行い代表となった生徒であること。代表枠は石狩 28 名、後志 2 名、十勝 4 名、道南 6 名、オホーツク 2 名、上川・道北 4 名、空知 2 名、苫小牧・室蘭 0 名、釧根 0 名となる。女子は支部高等学校文化連盟将棋専門部の承認が必要となるので、支部予選がある場合は参加申込をした生徒であること。
 - (7) 奨励会在籍経験者は日本将棋連盟退会規定に合致していること。
- 8 参加料
生徒 1 人あたり 500 円(大会当日に受付にて現金納入。申込み後に辞退しても返金しない)
- 9 参加申込
 - (1) メールにて申込むこと。
申込先(大会事務局) 北海道札幌東高等学校 横山 隆之 E-mail 458ma@hokkaido-c.ed.jp
当番校 HP から参加申込書をダウンロードし、10 月 8 日(木)16:00 までに送信すること。
 - (2) 個人肖像権使用承諾書(本人直筆)は大会当日、受付にて提出すること。
 - (3) 参加申込書が届き次第、申込トラブル防止のため締切翌日までに事務局から申込受理のメールを送信するので必ず確認すること。申込受理のメールが未着の場合は必ず当番校担当者に問い合わせること。
 - (4) 申込締切厳守とする。

※ 参加申込について不明な点がある場合、大会事務局まで連絡すること。
- 10 表彰
男女の優勝、準優勝、第 3 位に賞状並びに楯を授与する。第 4 位、第 5 位には賞状を授与する。
- 11 全国大会
男子の上位 2 名、女子の上位 2 名には、令和 9 年(2027 年)1 月 21 日(木)~1 月 23 日(土)、三重県で開催される第 35 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会への出場権が与えられる。
- 12 事務局
申込先と同じ。
- 13 当番校より
対局環境を維持するため対局時には大会参加生徒、大会運営者、引率顧問、並びに大会主催者が許可した関係者のみ対局会場への入室を認める。
- 14 その他
宿泊・昼食の斡旋は行わない。

実 施 要 領

1 競技日程

開 場	9：00～	昼休み	12：10～12：50
受 付	9：00～	4 回戦	12：50～13：40
開会式	9：25～ 9：35	5 回戦	13：40～14：30
1 回戦	9：40～10：30	6 回戦	14：30～15：20
2 回戦	10：30～11：20	閉会式	15：40～15：55
3 回戦	11：20～12：10		

2 試合方式

- (1) 試合は男女別個人戦とする。
- (2) 男子はスイス式トーナメント 6 回戦を行う。
- (3) 女子は参加人数に応じて専門部会で決定する。別紙「出場人数における対局回数設定の細則」参照

3 選手番号の抽選

- (1) 選手番号の抽選は、事前に専門委員立ち会いのもとで実施する。
- (2) 全道高校選手権個人優勝と準優勝選手が参加する場合は上から選手番号 1、2 としてシードする。

4 持ち時間

10 分。切れたら一手 30 秒未満の秒読みとする。

5 スイス式トーナメントについて

- (1) コンピュータソフト「Swiss Perfect98」を用いて、対戦組合せ、成績算出を行う。
- (2) 対戦は原則として、同じ成績で組み合わせる。原則通り組合せができないとき（同じ成績の者の総数が奇数の場合など）は、できるだけ近い成績で組み合わせる。
- (3) 全参加者の数が奇数の場合は、bye（不戦勝）選手を設ける。
- (4) どの組合せも一回限りで、同じ相手と二度以上対戦することはない。
- (5) 原則として同じ成績のグループを上下に分け、各グループ同士で選手番号が小さい順から順番に対戦する。たとえば、選手番号が 1～48 番のとき、1-25, 2-26, ……、23-47, 24-48 が対戦する。
- (6) 男子の 2 回戦まで同校選手の不对戦を設定する。なお、スイス式対戦の組み合わせが出来ない場合はこの原則を除外する。男子の 3 回戦以降については同校選手の不对戦は設定しない。女子は参加人数に合わせて定める。

6 スイス式トーナメントの順位決定方式

- ・勝ち点が多い方が上位。
- ・同じ勝ち点になったときには、以下のような優先順位で順位を決定する。
 - ①ブックホルツ（対戦相手の勝ち点の総和）
 - ②バーガー（勝った相手の勝ち点の総和）
 - ③メディアン（対戦相手の勝ち点の最大値と最小値を引いた残りの勝ち点の総和）
 - ④プログレス（各回戦の勝ち点を累積した各回戦の勝ち点の総和）
- ・上記で決まらない場合
 - ㊦表彰に関わる 2 名が同ポイントの場合、直接対決で勝っている方を上位とする。
 - ①㊦で直接対決していない場合や表彰に関わらない場合は、選手番号（抽選番号）の小さい方を上位とする。